

茅野市民館ショーケース 2024 ショーケースだより

縄文アート

～子どもたちの縄文アートが大集合！～



茅野市内の小中学校では、茅野の縄文について学ぶ「縄文市民科学習」に取り組んでいます。縄文アートでは、そんな茅野市内の小中学生が縄文の学習を通して、自分なりに縄文について考え、制作した作品を、茅野市民館に一堂に集め展示しています。今年も市内9校の小中学校からたくさん作品が展示されています。その数はなんと1014点。

さらに今年は作品のジャンルも様々。土器や土笛をはじめ、土偶・土鈴・勾玉・黒曜石でできた矢じり・麻袋で作った服、アンギンコースター、さらに縄文文様を描いたランプシェードやデザインスケッチまでバラエティに富んだ作品が並びました。

ワンピースとセットアップの2パターン



麻袋で作った服



土鈴

形が特徴的な土鈴

アンギン編みのコースター



アンギンコースター



勾玉&黒曜石でできた矢じり

ピカピカの勾玉&矢じり

カラフルな縄文模様！



縄文文様ランプシェード

コロンとした土笛



土笛

どれも個性的



土器



シャツ・カップ・トートバッグのデザイン画



縄文文様デザインスケッチ

日時：2024年10月25日(金)

～11月11日(月)

会場：茅野市民館

ロビー、テラス、中庭



縄文のビーナス像&土偶

細かいところまで作りこんだ土偶たち



昼とは違う表情をみせる夜の縄文アート



踊っているみたい



展示作業を支えるのは市民館サポーターの皆さん。作品が魅力的に見えるようなレイアウトを考えて、ひとつずつ丁寧に展示していきます。今年は作品数が多いこともあり、見どころも盛りだくさん。

今回、多くの学校から集まった土器は、外での展示が可能なものは中庭に展示されました。放射状のように並べられているのは、「仲間が集ってひろがる」ようなイメージとのこと。ほかにも、土偶をバレエの「ポレロ」をイメージして並べるなど、サポーターの皆さんのアイデアや遊び心が光る展示となりました。

「茅野市民館ショーケース」とは…「こんなことがしたい！」というアイデアを持った提案者が主体となり、茅野市民館がサポート役となって、一緒に企画を実現するものです。

提案者：茅野市小中学校